



令和5年度

# 学校だより

6月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校

電話 331-5123

FAX 331-5343

## たてわり活動がつなぐバトン

校長 小林 雅弘

気持ちのよい新緑の風がそよぐ5月12日(金)、全校遠足が行われました。新型コロナウイルスの影響で、ここ3年間は晩秋に行っていたこの行事でしたが、今年度は4年ぶりに春の実施に戻しました。

この時期に全校遠足を行うには、たてわり班の編制や顔合わせ、当日に向けた準備等がとてもタイトになります。4月の早い段階から5・6年生はリーダー会議を重ね、活動のねらい、見通し、ゲームのルール、役割分担などを決めていきました。

4月24日(火)に「たてわりはじめましての会」を開き、たてわりグループで仲を深めるためにどんな遊びをしようか話し合いました。その後ロング昼休みを利用して、1年から6年までがグループごとに遊び、全校遠足に向けて交流を深めていきました。

全校遠足当日は、6年生が他の学年よりも早く校庭に出て、下級生たちを迎え、全校で出発式を行いました。その後、1年生は6年生と、2年生は5年生と、3年生は4年生とそれぞれ手をつなぎ、保土ヶ谷公園まで歩きました。

園内では、保護者の皆様のご協力を得て、「みんなでつなげ!!大なわゲーム」「みんなできょう力!!スペシャルジェスチャー」「みんなであてよう3択クイズ」「思い出つくろうハイチーズ!!」の4つのアトラクションを楽しみました。私もいろいろな班と一緒に、4つのゾーンを回りましたが、どの班の子どもたちもとてもよい表情で過ごしていました。



その中でも、6年生の子どもたちは最上級生という高い意識をもち、バディの1年生はもちろんのこと、班全体のメンバーに常に気を配りながら活動していました。今年度は、6年生よりも1年生が20名近く多いため、一人で二人の1年生をみる児童もたくさんいます。1年生を飽きさせないようにやさしく声をかけながら接している様子に頼もしさを感じました。そのような立派な6年生の姿に下級生たちは憧れの気持ちをもちます。特に5年生は、「来年は私たちがあの立場になるのだ」と次年度の自分の姿をイメージします。このようによい循環がうまれ、上の学年から下の学年にバトンがつながっていくところが、たてわり活動のよさであり、それがこの岩崎小学校の大きな特色の一つだと考えています。これからも異学年でのかかわりを大切にして教育活動を進めていきたいと思えます。

当日は、道路での見守りや園内でのアトラクションのお手伝い等で、50名を超える保護者の皆様にご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。